

演題：「臨床経験 3 年目の私が伝えたいデジタル技工」

講師：福井健太（岐阜県歯科技工士会会員）

抄録：近年急速にデジタル技工が発展しています。それに伴い、歯科技工士は新しいスキルを身に着ける必要があります。CAD/CAM をはじめとする様々なデジタルツールが存在する中で、ただ単純なコンピューター操作のみをしていては十分にデジタル機器を最大限に活用しているとは言えません。デジタルツールを少しでも多く活用することにより補綴装置が完成するまでの製作時間や補綴装置の精度に大きな影響がでます。臨床経験 3 年目の私ですが、日常臨床で行っているスキャニング方法、補綴デザイン、ミリングの各工程において必要な知識を述べさせていただきたいと思います。